

2017年12月27日

# 高圧処理装置でブラジルの食品産業振興に挑む

～JICA ブラジル調査団に参加した広島県企業が案件化調査に採択～

国際協力機構（JICA）は12月26日、中小企業海外展開支援事業～案件化調査～において株式会社東洋高圧（広島県広島市、野口賢二郎取締役会長）が提案する「ミナスジェライス州及び周辺州における超高圧処理を用いた高付加価値食品産業振興に関する案件化調査」（ブラジル）を採択しました。

広大な耕作地から世界各国へ農作物を輸出するブラジルでは、果てしなく長いトラック輸送や保冷車等の使用により高額な輸送コストがかかっています。また食料資源の安定供給へは、日本政府の援助指針として掲げられているだけでなく、世界の食糧庫としての役割を担っているブラジルにおいても大きな課題となっています。

同社の高圧処理装置「まるごとエキス」は静水圧で100MPaまで圧力を素材にかけることができ、「細菌の働き抑制」「素材への浸漬効果促進」「熟成作用促進」などの効果があります。圧力をかけ、素材をエキス化することによって常温での長期保存が可能となり、輸送コストの削減と農業・食品産業の振興が期待されます。同社は、今年8月に派遣した中南米日系社会との連携調査団（ブラジル派遣）への参加により、数多くのブラジルの食品関連企業と意見交換を行い、ニーズと本装置の活用のポテンシャルについて情報収集を行い、今回の提案に至りました。



本調査では、ブラジル北部のミナスジェライス州と周辺州 ODA 案件の形成を目的とした調査（同社で例えば「普及・実証事業」）と、将来のビジネスの可能性について調査を行います。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 2 回分は今年 9 月に公示を行い、33 件が採択。

参考：(12/26 プレスリリース) 案件化調査 2017 年度第 2 回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html)

## 【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当：新庄、西山  
 TEL：082-421-6300 FAX：082-420-8082  
 E-mail：cictad@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ  
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

